

修士課程カリキュラム・フレームワーク

ディプロマ・ポリシー	修士課程カリキュラム・フレームワーク		
	CF 項目	指標(学生が自らの学修成果を振り返るための規準)	
1.伝統文化の持続発展や国際理解教育の発展に貢献する高度な知識・技能、思考力・判断力・表現力	1. 各学問領域の発展に貢献する高度な力量 伝統文化の持続発展や国際理解教育の発展に貢献する高度な知識・技能、思考力・判断力・表現力を身に付けている。	1-1 伝統文化や国際理解教育の各領域の基盤となる知識・技能等	奈良をはじめとする日本の伝統文化やその教育及び国際理解教育の専門領域における諸問題を把握し、それらの基盤となる内容・技能を説明又は制作により表現することができる。
		1-2 伝統文化教育と国際理解教育の相互作用・学びの深化を通じた高度な知識・技能等	国際性・多様性をふまえた伝統文化の認識及びその教育と、自民族・自文化中心主義に陥ることなく多文化が相互に尊重・継承される社会の形成を目指す国際理解教育の相互作用・学びの深化について説明又は制作により表現することができる。
		1-3 伝統文化の持続発展や国際理解教育の発展に貢献する高度な思考力・判断力・表現力等	伝統文化やその教育及び国際理解教育に関わる知識・技能を用いて、伝統文化の発信、芸術と生活との関わり、多文化共生社会の創造等について自分なりの考えを持ち、他者との対話を通じて深く追究することができる。
2.伝統文化やその教育、国際理解教育に関わる課題を探究・解決し、それらについて専門性を深めることができる研究力	2. 研究力 伝統文化やその教育、国際理解教育に関わる課題を探究・解決し、それらについて専門性を深めることができる。	2-1 伝統文化やその教育、国際理解教育の課題設定に関する知識・技能及び思考力・判断力・表現力等	伝統文化やその教育、国際理解教育に関わる課題を、研究対象として設定し、説明することができる。
		2-2 伝統文化やその教育、国際理解教育の課題探究・解決の手法・結果の考察に関する専門的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等	伝統文化やその教育、国際理解教育に関わる課題探究・解決に向けた研究に、専門性の観点から適切な手法を用いて取り組み、結果を考察することができる。
		2-3 伝統文化やその教育、国際理解教育の課題探究・解決の成果の解釈・説明に関する知識・技能及び思考力・判断力・表現力等	伝統文化やその教育、国際理解教育に関わる課題探究・解決において、得られた研究の成果を解釈し、その意義を説明・表現することができる。
3.教育の立場から多文化共生社会の実現やSDGsの達成に貢献できる力量	3. 社会に貢献する力量 教育の立場から多文化共生社会の実現やSDGsの達成に貢献することができる。	3-1 教育の立場から多文化共生社会の実現やSDGsの達成に貢献するための技能・発信力等	地域社会、学校、企業、学会、国際的な場等において、伝統文化と国際理解教育を架橋する研究成果の発表・発信を行い、多様な背景や役割を持つ人と多文化共生社会の実現に向けて建設的な意見交換を行うことができる。
		3-2 教育の立場から多文化共生社会の実現やSDGsの達成に貢献しようとする意欲・態度等	地域社会、学校、企業、学会、国際的な場等において、多様な背景や役割を持つ人たちと共に、多文化共生社会の実現に向けて、積極的に取り組むことができる。
		3-3 教育の立場から多文化共生社会の実現やSDGsの達成に貢献するための実践力・行動力等	地域社会、学校、企業、学会、国際的な場等において、日本の伝統文化及び技能、その教育に関して、多文化共生社会実現の視点から助言・指導を行ったり、必要に応じて多様な背景や役割を持つ人と共に取組を企画・実施したりすることができる。